

『一生懸命』幻の新座市議会報告第74弾!



たかむらともや

2011年11月30日発行

22年度決算認定せず

9月議会ではいくつかの市長提出議案に反対しました。9月議会は決算の議会ですから、22年度の決算認定が一番大きな議題でした。反対の理由はいろいろありますが、借金がまだまだあるのに無駄なものにお金をかけ、市民要望には応えない。そういう市政運営に対する反対表明をしたのです。(詳しい内容は後ほど)

補正3号に一人反対

11月25日発行の市議会だよりにも掲載されますが、9月議会での補正3号には唯一人反対しました。理由は「ふるさと新座館」の予算が計上されていたからです。東北があのような状態で、関東全域、いや日本全体が大変な時期に、15億もかけて「ふるさと新座館」を建設していくことなど、どう考えてもおかしい。僕はそう思いました。そんなお金があったら、23校に給食の食材を検査できる放射線量計を買って欲しい。新座の子ども達の命と安全を守ることに市民の税金を使って欲しい。「金がない」「財政が苦しい」といつも言っているのに、箱物になると15億でもポンと出す。嘘だらけだった民主党のマニフェストのようです。26人の議員がいて、たった1人の反対でしたが、僕を応援してくださる方たちの思いを力にして、思い切り反対しました。

TPPだと!

雇用が深刻。TDKは国内外グループで1万千人の人員削減、パナソニックもグループ社員1万人を削減を表明、日立電線も650人の早期退職を募集開始。こんなときに復興増税と消費税増税をしたらどうなる!? 民主党はすべての国民を敵に回そうとしている(ツイッターから)民主党が東北の復興に真剣でないことは明らかです。TPPで農業が破壊され、食料の自給率が下がり雇用が更に悪化し医療も金融もアメリカの言いなりになるでしょう。民主党にアメリカと対等に交渉できる能力は全くないのですから、TPPはありえません。



川掃除のメンバーが増えてきました。駅立ちで出会ったことがきっかけという方もかなりいます。11月は13日(日)を予定しています。参加をお待ちしています。

たかやんのプロフィール



本名たかむらともや。教育を語らせたら、止まらない男。都立石神井高校を経て北海道大学へ。新座五中・六中・二中で21年間を過ごし退職。04年初当選。一人会派「語る会」で、しがらみのない発言をし続けている。「たかやん塾」塾長。「黒目川川づくり懇談会」代表として月に一度の川掃除に燃えている。「新座の子ども達の命と健康を守る親の会」副代表として、市内の放射線量の計測に燃え、給食の全品検査を訴えている。新座五・六中の男女硬式テニス部を率いて、関東大会5回、全国大会2回優勝。今もテニスに燃えている。学級通信「一生懸命」を20年間発行。古くはNHKの「おはよう広場」、去年はインターネットテレビに出演。議員日記は毎日更新。市民目線の議会報告を毎月発行。HPへのアクセスは16万8千回を超える。日々教育を考え「観光新座」ではなく「教育新座」「環境新座」を訴えている。「脱原発」「反TPP」にも燃える男である。

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ どこにでも行きませ！



3日の学童保育の大運動会での写真です。首から提げているのが「放射線量計」です。この日の朝は、7時から栗原6丁目の二つの公園を計測しました。やはり落ち葉と水が溜まるところは数値がどんどん上がっていきましました。その後、リクエストのあった藤島さんのお宅を計測しました。1階より先2階の方が少し高めでしたが、全体的に低い数値でしたのでほっとしました。(0.048~0.071)



僕が購入したのは堀場製作所の線量計で、市が保有しているものと同じ(12万5千円)ものです。2万5千円でプラスチックの部品を買えば、食材の線量も計れるという優れものです。毎朝、子ども達と学校へ行く途中も首から提げ、計測し放射線量を記録をしています。福島では除染後も数値が上がっていますから、安心はできません。政務調査費で購入しようとしたのですが、どうやらその規定から外れているらしく「政務調査費では購入できません」と言われました。(志木市では認められているのに!)市民の要望に応えて放射線量を調査する。それこそ「政務調査」だと思うのですが…。という訳で自腹ですが、市内どこにでも行きますので、気軽にリクエストしてください。

③ 5時45分

先月はひばりが丘、東久留米、保谷、新座と久しぶりに4つの駅に立ってみました。(特に保谷は4年振りくらいだと思います)いつもは5時55分からなのですが、先月は5時45分からやってみました。たった10分早く立っただけですが、やはりいいことがありました。暫く会えなかったYちゃんに会えたのです。高校生になったYちゃんと久しぶりに笑顔で挨拶し、少し話もできました。「早起きは三文の得」なのですね。月に一度の駅立ちするようになって6年経とうとしています。最近はやたらと差し出すのではなく「いいオーラ」「いい気」が出ている人を中心に差し出すようになりました。ですから、これを手にしている方は「元気」や「いいオーラ」を出している…と僕が感じている方なのです。いいオーラを出している方はひばりが丘では800名、東久留米では500名、新座駅では400名、保谷では150名を超えるようになり、ポストイングする「一生懸命」が不足するようになってきました。これを手にして下さるみなさんに感謝、感謝です。

③ リズムとテンポ

学校公開へ行って、「つまらない」と感じたことはありませんか。それは授業のリズムが悪いから。限られた時間内で子ども達の能力を最大限引き出すには、親もキツキツするようなリズム感が必要です。ゆっくり説明すれば理解が深まるか・そんな訳はないのです。テニスでいうと説明に30分かけて、一人3球のボールを打つよりは、説明は3分にして、一人30球のボールを打ったほうがいいに決まっています。そして何より大事なのが楽しいという感覚です。親が見て楽しければ、子ども達ももっと楽しく決まっています。最近の教育週間で、いいリズムの授業も沢山見てきましたが、リズムの悪い授業もかなりありました。「主人公は生徒」とよくいいますが、どの子の力も100%引き出そうとするには、先生も授業の中で主役にならないといけないけません。授業のリズムが悪いと、どうしてもなかなか進まず長期的なテンポも悪くなるのです。授業上手な先生からリズムを学ぶことが、授業のレベルを上げる一番の近道かも知れません。